

case. 下関市  
04 カフェ・事務所



住宅



店舗



存在感のある梁を活かした  
ゆっくりとくつろげるカフェ

リノベーション内容

Before



After



ほとんど窓だった玄関側は耐震性を考慮して壁を増やし、墨モルタル塗りで仕上、建物の顔とした。

Before



After



客室空間はもともと、畳の田の字造りであったが湿気対策として全面土間コンクリート張りの床にした。また、壁や梁も増やして耐震性を向上させている。



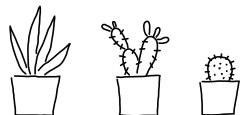
# リノベーション ストーリー

renovation story

私は建築士で、近年福岡県内で古民家再生を行ってきました。古民家でしか生まれない魅力というものを大事にしていきたいという思いがあり、下関の皆さんにも古民家の持つ魅力を知ってもらいたいと思っていました。そこで、古民家の良さを感じてもらいきっかけづくりとして、古民家をカフェに改修し皆さんに来てもらうことを思い立ち、古民家物件を探していました。この古民家は、小屋裏の梁が力強く複雑に組み込まれており、建物の生命力を感じるその力強さに引き付けられこの物件の利活用を決定しました。しばらく人が住んでいなかったこともあり、傷んでいる部分も多々ありましたが、新しい木を使いつつも、元からあった建具や、床板などは再利用しています。古民家の懐かしい雰囲気を残しつつ、今の時代にあった建物として生まれ変わり、ゆっくりと過ごしてもらえる古民家カフェとして活用させてもらっています。



## 利活用までの スケジュール



schedule

● 2021.8	空き家探し開始
● 2021.10	利活用する物件が決まる
● 2021.11	リノベーション開始
● 2022.2	リノベーション完了
● 2023.3	オープン

## こだわりポイント



### 職人の古き良き技術に馴染むリノベーション

古民家の雰囲気に合うように、力強く複雑に組まれた梁、荒々しい杉皮の野地板もそのまま見せることにしました。また、壁の一部は竹小舞(たけこまい)という竹を編んでその上に土を塗った、昔の職人の技術が光る昔ながらの壁をあえて残しています。外壁は左官屋さんの塗り壁としたかったので、墨モルタルの掻き落としという技法で仕上げています。